

各省における既存の主な環境教育・環境学習関連施策の概要

☆ 複数の省が協力・連携して行う事業

(1) 人材の育成

平成16年度 (平成15年度)

☆ 環境教育・環境学習指導者養成基礎講座の開催 (文部科学省)

9百万円 (9百万円)

環境教育指導者育成事業 (環境省)

13百万円 (12百万円)

両省が連携協力し、教員及び地域の活動実践リーダーを対象に基本的知識の習得と体験学習を重視した研修を行い、学校の児童生徒や地域の人々に対する環境教育・環境学習の推進を図る。

☆ 森林環境教育活動の条件整備促進対策事業 (農林水産省 (文部科学省と連携))

87百万円 (112百万円)

森林体験学習等の指導者や企画運営者の研修、森の子どもの受け入れ体制の整備、学校林の整備・活用等の条件整備を実施。

○ (新) 環境教育等人材認定等事業登録事業 (環境省)

17百万円 (0円)

環境の保全に関する知識及び環境の保全に関する指導を行う能力を有する人材を育成又は認定する人材認定等事業について、民間団体等が運営するもので一定の基準を満たすものを登録し、環境保全活動等での活用を図る。

○ 環境カウンセラー活用推進事業 (環境省)

29百万円 (19百万円)

環境保全に関する知識・経験が豊富な人材を登録公開することにより、環境保全活動に取り組む者が適切な助言等を得られやすくし、環境教育等の環境保全活動の活性化を図る。登録者総数 (平成15年4月1日現在) 3,097名

○ パークボランティア活動推進事業費 (環境省)

12百万円 (12百万円)

自然解説、美化清掃、施設の維持管理等を行うボランティアを登録し、国立公園の保護管理業務に協力。

(2) プログラムの整備

☆ 森林・林業教育総合推進事業 (農林水産省 (文部科学省と連携))

40百万円 (47百万円)

年齢層に応じた体系的プログラムの開発と普及、教職員等を対象とした森林・林業セミナーの開催とともに、学校教育と連携した森林・林業体験学習等を実施。